

経済同友会会員様

拝啓

柳がようやく芽ぶき、所々にうす緑の若草も萌え出す早春の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。さて、この度の熊本地震に際しましては、格別な御厚意により小型フライス盤を贈呈いただき大変ありがとうございますございました。

四月十六日の本震では、実習棟内の工具棚や機械が転倒し甚大な被害を受けました。転倒を免れた大型の機械も約四十センチ近くも台座から外れており、移設困難で定位置に戻すまでは実験実習ができない状況でした。工作機械では、小型フライス盤・マシニングセンタの被害がもつとも大きく、小型フライス盤は、実験実習や課題研究において頻繁に使用しており、ロボットの製作や、材料試験で使用する試験片の製作など幅広く使用してまいりましたが、台座から落ち使用不能な状態にありました。また、マシニングセンタも接地箇所から六十センチも移動し、側壁に食い込む形で止まっており、XYテーブルが地震の揺れで激しく動き正常な動作が困難であり、現在も使用不能の状況にあり、実験実習に支障をきたしています。

熊本地震により、校内の建物にも甚大な被害が及びましたが、工業高校として実験実習で使用する工作機械の使用ができない状況下に、経済同友会 I P P O I P P O N I P P O N プロジェクト熊本支援第一期活動として、早急な御対応により、小型フライス盤を贈呈頂きましたことに、感謝の念に堪えません。小型フライス盤の使用が可能となり、実験実習・課題研究における製品製作ができるようになりました。

今後は、皆様方のご期待に沿えますように勉学に勤しみ、ふるさと熊本や日本の産業界を支えられる人材として更に精進して参りたいと思っております。

皆様方のますますの御発展をお祈りし、お礼の言葉と致します。誠にありがとうございます。

敬具

熊本県立小川工業高等学校 機械科 Mさん 小型フライス盤 贈呈の御礼状